

令和5年度 木とふれあう環境づくり推進事業

令和5年度の助成状況について、一部ご紹介いたします！！

◆木育環境の整備

★紹介1：木製遊具（リス道、三角キッズハウス、丸太のぼり）（鹿児島市）

●事業主体

株式会社 吉野杜 子育て支援「genzaburo no niwa」

●助成額

332,000円

●木材使用量

1.68m³

●整備の概要

木育インストラクターが運営するNPO法人と連携して、「リス道」や「三角キッズハウス」, 「丸太のぼり」が整備されました。

施設では、整備した木製遊具や「かごもく」等の木製玩具で遊べるイベントなどを通じて、子どもの頃から木材への親しみを感じてもらおう「木育」に積極的に取り組んでいます。



リス道



三角キッズハウス



丸太のぼり

◆木造施設等の整備（施設の整備）

★紹介2：エネフィル吉野（鹿児島市）

●事業主体

日本瓦斯 株式会社

●助成額

4,913,000円

●木材使用量

81.0m³（うちCLT使用量26.54m³）

●整備の概要

エネルギーを扱う企業として自然環境に配慮した事務所兼ショールームが整備されました。構造は、かごしま材を利用したラーメン構造（柱と梁で建物を支える構造）とし、大断面集成材を活用することで、木材をふんだんに感じることができる大空間を確保しています。温かみのある空間の中で、ショールームとしての機能や木材の良さの発信を行い、地域の中で環境配慮を率先する施設となることを期待しています。



事務所兼ショールーム



★紹介3：^{むくのき} 棕（南九州市）

●事業主体

マル川建設 株式会社

●助成額

4,913,000円

●木材使用量

37.96m³

●整備の概要

施設利用者が木材を使った空間に憧れを抱き、かごしま材を使った建物の普及につなげたいとの思いからカフェ・コワーキングスペースなどを持つ複合施設が整備されました。施設全体に、かごしま材をふんだんに使用しており、木のあたたかみなどを利用者が身近に感じられるよう現しで仕上げられています。

今後は、地域と施設利用者がつながるコミュニティの場としての利用を考えており、過疎地域にイノベーションを起こすきっかけとなることを期待しています。



複合施設



◆木造施設等の整備（製品の設置）

★紹介4：木製アスレチック遊具（鹿児島市）

●事業主体

学校法人 鹿児島敬愛学園 敬愛幼稚園

●助成額

4,157,000円

●木材使用量

2.31m³

●設置の概要

木に直にふれ合う体験を通じて、子どもたちに木の持つ役割などを学んでもらえるよう木製総合アスレチックやブランコなどが設置されました。

歴史的観光地である周囲の環境にマッチしたデザインとなっており、園児をはじめ、周辺の観光地を訪れた方々へも広くかごしま材利用の取組についてPRしています。



木製アスレチック



木製ブランコ

◆木製品の開発及び普及（学生デザイン活用枠）

★紹介5：木造サウナ小屋「FiKaSauna」（霧島市）

●事業主体

鹿児島大学大学院 理工学研究科 建築学プログラム 環境建築研究室

●助成額

982,000円

●開発の概要

伝統的なサウナ小屋とかごしま材を組み合わせた鹿児島型のサウナ小屋が開発されました。本製品は、一般的な木造住宅の約3倍もの木材を用いてかごしま材の利用を促進するとともに、木の良さを体で感じられる施設となっています。

現在は、霧島神宮駅周辺に設置するとともに、SNS等を活用したPRを実施しています。



木造サウナ小屋

